

ぼくと歴史と博物館の30年

埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会 会員 今村和晃（川口市）

初めて寄稿いたします。よろしくお願ひいたします。2015年に「博物館友の会」へ入会させていただき、早7年になりました。埼玉県立歴史と民俗の博物館を初めて訪ねたのは、今から30年以上前の1990年（平成2年）。小生がまだ小学校6年生の頃で、当時はまだ「埼玉県立博物館」でした。それ以前から歴史が好きで、当時は小学校の課外授業での来館だったのですが、かなり夢中になってしまい、以後、断続的ではありますが足繁く通っておりました。

そもそも、ぼくが歴史に夢中になり始めたきっかけは、NHK大河ドラマ「独眼竜政宗」（1987年）でした。当時のぼくはまだ9才でしたが、そこから歴史の面白さにめざめ、小学校の教室に置いてあった「まんが日本の歴史」を読みふけり、源義経公が活躍する源平合戦の時代にいつしか魅了され、卒業時（1990年）の課外授業で見学させていただいたことがきっかけで、博物館で歴史を勉強する楽しさに目覚めました。また、高校時の日本史の先生はぼくの当時の学級担任でもあり、大変ありがたいことに学芸員という仕事がある事を教えていただき、大学で学ぶきっかけになりました。

その後、大学、および大学院（修士）で歴史を専攻。幸い大学内にて博物館課程を取得する機会があり、「見学実習」の課題で何度か博物館に通い、レポートを提出していたのはいまでも懐かしい思い出です。大学卒業後は…諸事情により他の仕事についておりますが、それでも子供の頃からの夢を忘れることができず…引き続き、どんな形でもいいので博物館と関わりたい、歴史の勉強をもう一度やってみたいと強く思い、機会があれば何にでも参加するつもりで、2015年に一念発起して「友の会」に入会。しばらくはイベントに一会員として参加させていただくのみでしたが、このたび、「友の会ボランティア募集」の報に触れ、先日の説明会の席では、当館と友の会を取り巻く厳しい現状をうかがい、改めて「博物館の為に何かしたい」という思いを強くしました。

ちなみに、「友の会」入会のきっかけは、当時の受付係の方が初対面だったにもかかわらず熱心に勧めて下さったことであり、貴重なチャンスをいただけたことを、今でも深く感謝しております。入会後も、引き続き平日は働いている身ですので、見学会への参加こそ叶わず非常に残念ですが、幸いにも日曜祝日はフリーですので、その日の講演会には頻繁に参加させていただき、改めて数多くの知見をいただきました。また、講演会以外にも、非常にわかりやすいと評判の、館内ボランティアの方による展示解説も聞き、引き続き楽しく学ばせていただいております。古代、中世を専攻しておりましたので、主に第3室でお話を伺うことが多く、ぼく自身が知的興奮から長々と話し込んでしまうので、解説員の方にはその都度、なにかとご迷惑をおかけしてしまっておりますが、それでも快くお付き合いいただき、大変感謝しております。

「友の会」の中でも数少ない（？）、まだまだ40代の若輩の身ではありますが、これからも諸先生方、諸先輩方の胸をお借りしながら、「歴史と民俗の博物館」と一緒に歩んでいきたいと思ひます。

次回の理事サポーター会議
総会

4月26日（火） 13：30～ 博物館講堂
5月22日（日） 10：00～（午後は講演会）

友の会の通常総会を開催します ご参加よろしくお願ひします

埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会

- ・日時 令和4年(2022年)5月22日(日)午前10時から11時(午後は講演会です)
- ・場所 埼玉県立歴史と民俗の博物館地階講堂
- ・議題 ①令和2年(2020)～令和3年(2021)年度事業・収支報告
②令和4年(2022)年度収支予算・事業計画案
③役員改選 ④その他

今後のイベントスケジュール *申し込みは各イベントの募集要項に応じてお願ひします。
ホームページ: <http://junosaitama.net/> ブログ: <http://hakutomobulog.at.webry.info/>

- 4月29日(金) 「古代文化を考える会(第5回)」 <今号で紹介>
- 5月14日(土) 古道探索倶楽部「第33回古道を訪ねて 日光道中その6」 <今号で紹介>
- 5月20日(金) まち歩きクラブ「隅田川テラス歩き その1」 <今号で紹介>
- 5月22日(日) 午前:総会 午後:講演会「鎌倉時代入門」 <今号で紹介>
- 6月17日(金) まち歩きクラブ「隅田川テラス歩き その2」 <今号で紹介>

<埼玉県立歴史と民俗の博物館の新しい人事です(敬称略)>

□退職(お世話になりました)

館長 村田 章人 文化資源課 文化財活用・博物館、指定文化財、史跡・埋蔵文化財担当 副課長
副館長 水口 由紀子 さきたま史跡の博物館 資料・展示担当 主任専門員兼学芸員
(資料調査・活用担当)主任学芸員 佐藤 美弥
(資料調査・活用担当)学芸員 佐藤 香里

□転出(お世話になりました)

□転出者(職名 氏名 新所属と職名)

(総務、施設担当)教育主幹 押江 成行 久喜図書館 副館長
(総務、施設担当)担当部長 石村 卓也 小中学校人事課 総務・定数管理・共同実施担当 主幹
(総務担当)主任 堀越 正規 加須げんきプラザ 担当課長
(施設担当)主任 大野 樹 文書館 総務担当 主任
(企画担当)担当部長 長谷川 晋 福利課 資格管理、短期給付、年金担当 主幹
(企画担当)学芸員 倉澤 麻由子 文化資源課 史跡・埋蔵文化財担当 主任
(展示担当)学芸主幹 佐藤 康二 さきたま史跡の博物館 広報・学習支援、資料・展示、史跡整備担当 学芸主幹

□転入(よろしくお願ひします)(職名 氏名 前職)

館長 末木 啓介 さきたま史跡の博物館館長(兼)嵐山史跡の博物館長
(総務、施設担当)副館長 佐藤 裕之 教育総務部 部長
(総務、施設担当)担当部長 奥木 敬司 保健体育課 総務、学校給食担当 副課長
(総務担当)主任 森 寿子 生涯学習推進課 社会教育施設企画調整担当主任
(施設担当)主事 関根 嵩弥 大滝げんきプラザ 主事
(企画、学習支援担当)主席学芸主幹 君島 勝秀 自然の博物館 企画・広報、自然担当主席学芸主幹
(企画担当)担当部長 金子 雅則 さきたま史跡の博物館 総務・課長(兼)嵐山史跡の博物館担当課長
(企画担当)学芸員 木村 遼之 文書館 公文書担当 学芸員
(学習支援担当)主任学芸員 山田 琴子 さきたま史跡の博物館 資料・展示担当 主任学芸員

□新採用職員

(展示担当)学芸員 片山 健太郎

◆第33回古道を訪ねて 日光道中その6◆

2022(令和4年)年5月14日(土)に「古道探索倶楽部」

<<日時>>2022年(令和4年)5月14日(土) 集合9時30分～解散15時30分(予定)

<<集合>>東武伊勢崎線東武動物公園駅改札口周辺 9:30

<<コース>>東武伊勢崎線東武動物公園駅⇒杉戸宿⇒宝性院⇒旧日光街道⇒高野の渡し⇒永福寺
⇒一里塚⇒御成街道⇒日光道中合流点⇒神宮寺⇒岸本家⇒東武日光線幸手駅解散

<<費用>>資料代等・参加費 500円

<<その他>>歩行距離は約9km、史跡巡りを入れると10km少々。お弁当と飲物は必ず事前に御用意願ひします。

<<問合せ先>>前日まで犬走(いぬばしり) 048-756-5634 当日 小俣(おまた) 090-3436-9017

<<参加申込み>>5月6日(金)までに、普通ハガキに氏名・住所・会員番号・電話番号(ご自宅・携帯とも)を明記して 〒339-0058さいたま市岩槻区本丸3-8-17 犬走東道あて 友の会ホームページ申込可

*日光道中歴史散策は、東武伊勢崎線竹ノ塚駅より栗橋駅までを7回シリーズで、お届けしています。

*参加費用は、300円から500円に変更させていただきました。

まち歩きクラブの「嵐山町の杉山城跡」を3月25日に開催 20名が参加



春の一日、埼玉県北の山城である埼玉県嵐山町の杉山城跡を見学、前後に2つの石仏群(町指定)を訪れました。参加者は20名。鎌倉街道沿いの「観音堂の石仏群」に寄った後、嵐山町役場で杉山城の解説ビデオを流して勉強、杉山城へ向かいます。杉山城は、直下を通る鎌倉街道を見下ろす丘陵の尾根上に多数の郭を配置した山城で、小さいながら様々な工夫が凝らされており堅固な防御力と敵への攻撃力を誇っています。現在からみればごく小規模に見えるスケールですが、弓矢、槍、刀での血みどろの戦いが想定されていたのです。詳細はブログをご覧ください(筑井 記)

◆隅田川テラス歩き—13の橋と文化景観(その1)◆

2022年(令和4年)5月20日(金)に「まち歩きクラブ」

- 《日時》2022年(令和4年)5月20日(金) 10時00分～15時00分頃
- 《集合》地下鉄日比谷線 南千住駅前駅 集合 雨天中止
- 《費用》交通費は各自負担。保険と参加費用:300円(浅草公園で昼食休憩の予定)
- 《概要》隅田川沿いにつくられた遊歩道を歩きながら文化財指定など趣ある13の橋を眺め、付近の文化景観を観察します。2回にわけて開催。(★国文化財 ☆都文化財)
- 《行程》南千住駅→千住大橋→汐入大橋(汐入公園)→水神大橋→白鬚橋☆(白鬚公園)→桜橋→言問橋☆(隅田公園)→吾妻橋☆(浅草公園)→駒形橋☆→厩橋☆→(蔵前橋☆→両国橋☆)JR御徒町駅
- 《申込・問合せ》①友の会ホームページの「申込フォーム」より送信フォームをお願いします。
②Eメール(筑井): pu8n-tki@asahi-net.or.jp 問い合わせ電話: 090-1990-4807

◆隅田川テラス歩き—13の橋と文化景観(その2)◆

2022年(令和4年)6月17日(金)に「まち歩きクラブ」

- 《日時》2022年(令和4年)6月17日(金) 10時00分～15時00分頃
- 《集合》JR京浜東北線・御徒町駅北口 集合 雨天中止 (★国文化財 ☆都文化財)
- 《費用》交通費は各自負担。保険と参加費用:300円(昼食の用意をお願いします)
- 《概要》隅田川沿いにつくられた遊歩道を歩きながら文化財指定など趣ある13の橋を眺めます。その2回目。
- 《行程》御徒町駅北口→厩橋☆→蔵前橋☆→両国橋☆→(柳橋)→新大橋(蔵前公園・休憩)→清洲橋★→隅田川大橋→永代橋★(永代公園)→中央大橋→佃大橋(佃公園・休憩)→勝鬨橋★(はとば公園)→メトロ東銀座駅・JR有楽町駅
- 《申込・問合せ》①友の会ホームページの「申込フォーム」より送信フォームをお願いします。
②Eメール(筑井): pu8n-tki@asahi-net.or.jp 問い合わせ電話: 090-1990-4807

◆新しい視点で学ぶ日本の古代史◆

2022年(令和4年)4月29日(金)に「古代文化を考える会」第5回講演会のご案内

- 《日時》2022年(令和4年)4月29日(金・昭和の日) 13時00分～16時00分
 - 《場所》当館講堂 東武アーバンパークライン(東武野田線)大宮公園駅下車
 - 《テーマ》倭人(卑弥氏)の渡来
- いよいよ卑弥氏の登場である。今回と次回の2度に分け「卑弥氏の渡来から倭国と伊都国、狗奴国の戦い」をお話いただく予定です。紀元前50年頃に「漢」が東北地方の支配を強化したのに伴い、それを嫌った卑弥氏は大凌河下流域から半島南部へ逃げ「倭国」を建国したという。『三國志』『韓伝』によれば「後漢時代」の「倭国」は「朝鮮半島南部」にあった。最初から日本列島に存在したのではない。—【(韓の)南は倭と接す。(弁辰)の瀆盧国は倭と堺を接す。】
- 「倭人伝」では半島南部の「倭」は消えて、「倭」は日本列島に移っている(204年～238年)。「景初二年」(238年)以前の「卑弥呼」は「女王」、国は「女王国」と記され、238年に魏へ朝貢して「親魏倭王」に任命されるや、北部九州の「倭国の倭王」になっている。日本列島初めての「倭国」の誕生である。倭奴国の樹立、「帯方郡」から「倭」への「行程」と邪馬壹国の位置など、何れも興味深い話が期待できそうである。
- 《講師》佃 収 先生
 - 《費用》資料代として500円、他に本代1000円(希望者)
 - 《申込》参加を希望される方は、①「友の会ホームページ」を通して、または②「普通ハガキ」(「埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会—「古代文化を考える会」—宛て)会員番号・氏名・住所・電話番号を明記)によりお申し込みください。【締切期日: 4月25日】
 - 申し込み多数の場合(現定員81名)は抽選とさせていただきます。抽選に漏れた方に対してのみ別途ご連絡させていただきます。《問合せ先》齊藤 048-853-6728

鎌倉時代入門

—大河ドラマをもっと楽しむために—

今年の大河ドラマ第12回で頼朝の挙兵を支えた東国最強の武士団棟梁、上総広常(佐藤浩市)が子供レベルの手習いをしているシーンが出てきました。当時の武士の実情を伝える象徴的な場面です。

「武士の世」と言われる鎌倉時代とは……。最新の研究成果を知り、大河ドラマをもっともっと楽しみましょう。講師の森内氏は中世史がご専門、武蔵七党安保氏や熊谷直実についての研究論文を出されており、現在は文化財が地域の宝として輝くようその保護と活用に取り組まれています。

講師 森内 優子 氏 (埼玉県文化資源課主幹)

日時 令和4年(2022年)5月22日(日)13:30～15:00

場所 当館講堂 (東武アーバンパークライン(野田線)大宮公園駅下車徒歩5分)

参加費 300円 友の会会員限定 定員80名

① お申込み方法

往復はがきに 氏名・住所・電話番号・イベント名・会員番号を明記、返信面に住所・氏名を記入し「〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4-219 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会」へ。当日は返信葉書をお持ち下さい

② 友の会ホームページの「申込フォーム」からご応募ください。

締切 令和4年(2022年)4月30日(土)

コロナ禍3密防止の為定員に制限が有ります。応募が定員を超えた場合は抽選により参加者を決め5月12日(木)までに返信葉書かホームページで連絡します。

当日はコロナ感染防止の入館ルールに従ってご来場ください

埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会